

News

地震発生
 熊野灘沖マグニチュード8.7
 三重大学上浜キャンパス震度6強

さあ、
 どうする!!

1月30日

東海地震や東南海・南海地震をはじめとする海溝型巨大地震の発生が危惧されている中、シーサイドキャンパスとして海岸に隣接した三重大学は、津波による浸水被害の可能性大!!本学危機管理マニュアルに則った学内の震災対応体制の検証(問題点の抽出および修正)と、本学構成員(学生・教職員)の地震・津波防災意識啓発を目的として、学生・教職員1200人が参加した避難訓練を初めて実施しました。

三重大学地震・津波避難訓練

- 11:40 **!地震発生!**
- 11:40 **災害対策本部設置訓練**
- 11:40~11:45 **災害対策支部設置訓練**
- 11:45 **津波警報発令、避難指示**
- 11:45 **津波避難誘導訓練**
- 11:45~12:05 **避難誘導終了、人員確認**
- 12:00 **津波警報解除・訓練講評**
- 12:10 **地震体験**
- 12:10~13:00 **非常食の試食**
- 13:10 **地震防災力啓発講演**

今回の訓練内容

1. 災害対策本部及び支部を設置し、教職員・学生に対する避難指示の伝達

ポイント 自分の身を守りましょう!
 ◎揺れが大きいと動くことが出来ません。いかに身の安全を確保するかを考えて行動。
 <机の下に潜る、座布団等で頭部を守る>

2. 教職員の指示による避難誘導

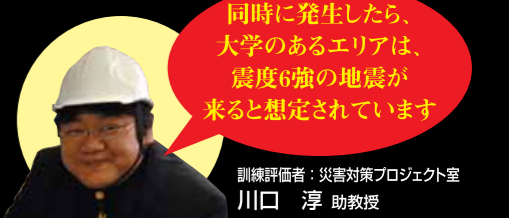
ポイント 落ち着いて行動!
 ◎揺れが収まったら…・火を使っていたら、火を消す。
 ・周囲の状況を確認。(建物の破損、けが人の発生等)
 ・建物の破壊状況によって、速やかに外へ避難。(今回の訓練では屋内に待機)
 <あわてず、係員の指示にしたがって避難>

3. 地震・津波に対する意識の啓発

地震体験車「そなえちゃん」
 試食
 アルファ米
 人文学部でPCIによる啓発
 学長より挨拶

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

- 地震発生**
 - 大きな揺れは長く1分程度
 - 落ち着け
 - 身を守れ
- 1~2分**
 - 揺れがおさまったら
 - 非常出口の確保
 - 非常持出し品
 - 家族・知人の安全確認
 - 靴を履け
 - 火が出たら素早く消火
- 3分**
 - 漏電・ガス漏れに注意
 - みんなの無事を確認
 - 周辺への声かけ
 - 津波から避難
- 5分**
 - ラジオなどで正しい情報を
 - デマに惑わされるな
 - 車で逃げるな
 - 防災機関の情報確認
- 10分~数時間後**
 - 協力して消火、救援、救出活動を
 - 余震に注意
 - みんなで助け合おう
- ~3日**
 - 避難生活は不自由なもの
 - 水・食料は備蓄でまかなう
 - 災害情報などの収集
 - 壊れかけた家に入るな
 - 避難所では協力し合う



東海・東南海・南海地震が同時に発生したら…

- 震度6強とは**
- 人**は 立ってられない。這わないと動けない状況。
- 建物**は 1981年(昭和56年)以前に建てられたものは全半壊の可能性大。(ほとんどが耐震補強がされていない)
- 海沿い**では 地盤の液状化が発生(地中の水分がふき出し、地面が陥没したりする)



今回の避難訓練を振り返り一言!!

- 初めて、全学で訓練を実施することができた。
- 構成員(学生・教職員)が、「まずは自分の身を守る」ことの大切さが理解できた。
- 構成員(学生・教職員)が、防災意識を持つことができた。
- 訓練参加数が少なかった。
- キャンパス内の一斉放送設備がないので、緊急情報の伝達に時間がかかった。

今回の訓練で学んだこと・検討したことを、ぜひ次回の避難訓練に活かそうね!